

## 2024年 院内がん登録

## Hospital Cancer Registration in 2024

新潟県立がんセンター新潟病院  
情報調査部 病歴室

## がん登録とは

「がん登録」とは、がん患者の診断や治療、経過などに関する情報を収集し、それを保管、整理、解析する仕組みである。がん登録には全国の病院および指定された診療所で診断したがんを集計する「全国がん登録」と、がん診療連携拠点病院や専門病院で診断したがんを集計する「院内がん登録」がある。

全国がん登録は2016年1月1日から施行された「がん登録等の推進に関する法律」に基づいて集計が開始され、罹患数の把握を主たる集計目的としている。居住地域にかかわらず全国どこの医療機関で診断を受けても、がんと診断された人のデータは各都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、最終的に国立がん研究センターにある国のデータベースで一元管理されている。

院内がん登録は、国が指定するがん診療連携拠点病院等を中心に、全国約850病院で行われており、がんの部位や進行の程度、診断・治療の方法など全国共通のルールに従って登録する。登録されたデータは国立がん研究センターに提出し、データの分析が行われる。

## 当院の院内がん登録の経緯

当院における院内がん登録の歴史は古く、1961年の開設以来60年以上に渡って新規がん患者のデータを登録、蓄積してきた。当院がん登録の最大の特徴は、その予後調査の精度の高さにある。これまで文書発送による予後調査と市区町村への照会による自発的調査を登録後20年に渡って毎年行って転帰情報を把握してきた。しかし、文書発送にかかる作業量の増加や個人情報保護法の問題もあり、現在は調査期間を10年に短縮し、文書発送ではなく市区町村への照会による調査を行っている。2013年から2022年までの予後判明率は99.39%であった。(図1)。

当院の院内がん登録は開始当初より原則として入院患者を対象にしたデータベースとして構築してきたため、患者の退院日を基準として年度毎の症例を

集計していた。しかし、2007年から始まったがん診療連携拠点病院における院内がん登録の全国集計は、入院のみならず外来患者も含めて、診断日を基準とした年度別登録となっていた。そのため、当院においては“従来の院内がん登録”と“拠点病院提出用の院内がん登録”の二重構造の状態が続いていた。また、外来のみで診断・治療されたがん患者の登録漏れが多かったことも、その問題が解消できない一因となっていた。しかし、2014年の電子カルテシステムの全面更新に伴ってケースファインディングシステムを導入し、これまで医師からの自発的な登録のみに頼っていた外来がん患者についても漏れなく登録することが可能となった。そこで、懸案事項であった院内がん登録の二重構造を解消すべく、2014年登録分以降は、拠点病院全国集計に提出している診断日ベースのデータを当院の正式な“院内がん登録”として取り扱っている。

## 2014-2024年院内がん登録

2014年から2024年の院内がん登録の部位別内訳を表1に示す。登録件数は毎年3,000件を超えており上昇傾向であったが、2020年は新型コロナウイルス感染症流行のため低下している。2021年には軽度上昇しその後は横ばいで推移していたが2024年は100例以上減少した。

2024年登録症例を部位別にみると、乳房(406例)、肺(384例)、大腸(結腸+直腸)(383例)、胃(353例)、皮膚(332例)が上位5がん種となっている。2021年の全国集計では1位大腸、2位肺、3位胃、4位乳房、5位前立腺であり当院の傾向と一致している。

区分別にみると、自施設診断自施設初回治療が56%、他施設診断自施設初回治療が31%と、約9割の患者が当院で治療導入されている(図2)。来院経路別では他院よりの紹介が85%と前方連携の重要性がうかがえる(図3)。発見経緯別ではがん検診・健診・人間ドックが20%、他疾患の経過観察中が32%であった(図4)。46%を占めているその他

には自覚症状などによる診療所・病院受診が含まれて  
向は一定している。

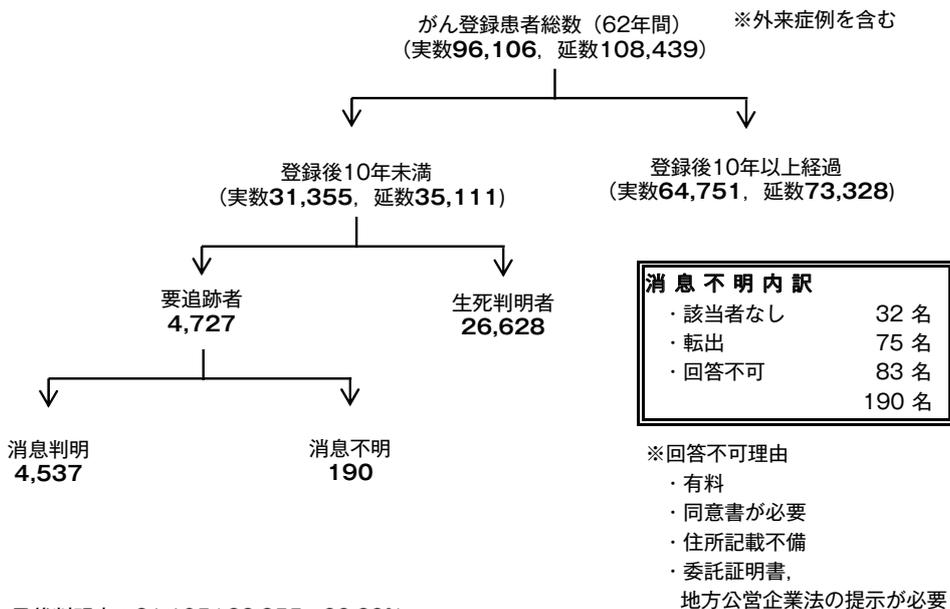
(塩路和彦)

ここ数年は大きな変動はなく、例年と比べても傾

表1 院内がん登録集計 件数

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
部位	提出件数										
口腔・咽頭	54	49	67	75	77	60	71	91	96	104	97
食道	120	120	128	149	160	172	144	153	154	159	151
胃	357	342	372	423	402	415	354	381	354	350	353
結腸	189	172	178	218	202	206	208	208	227	228	240
直腸	138	135	116	123	151	116	122	140	145	158	143
大腸					353	322	330	348	372	386	383
肝臓	30	34	40	33	32	26	25	34	21	35	50
胆嚢・胆管	56	38	43	33	32	28	32	39	37	38	28
膵臓	96	97	89	106	105	118	105	126	108	135	114
喉頭	34	20	39	40	35	30	17	32	31	27	29
肺	468	477	530	503	472	487	505	537	463	439	384
骨・軟骨	16	18	13	33	23	39	34	29	29	24	38
皮膚(悪性黒色腫を含む)	219	218	252	258	234	282	220	240	269	289	332
乳房	308	331	342	371	385	471	395	421	449	457	406
子宮頸部	130	115	126	89	130	154	121	122	84	106	83
子宮体部	69	69	53	71	83	58	90	80	96	101	107
子宮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵巣	47	42	50	44	43	49	55	60	51	68	50
前立腺	262	310	287	302	319	337	320	306	350	304	245
膀胱	141	152	145	188	182	197	184	196	227	160	172
腎・他の尿路	116	95	99	89	102	101	116	100	105	102	92
脳・中枢神経	7	8	10	11	8	11	7	5	8	2	6
甲状腺	85	75	102	90	78	73	71	65	77	77	71
悪性リンパ腫	105	74	106	81	82	82	72	74	69	62	90
多発性骨髄腫	14	9	22	21	17	11	11	12	9	10	20
白血病	21	28	19	21	16	20	20	16	15	15	24
他の造血管腫瘍	12	20	11	17	13	21	7	13	13	10	12
その他	81	72	73	105	96	104	81	95	99	96	109
合計	3,175	3,120	3,312	3,494	3,479	3,668	3,387	3,575	3,586	3,556	3,446

※2023年度より、調査期間を20年から10年に短縮し、  
はがきによる直接照会を省略し、住民票照会のみ行うこととした。



予後判明率：31,165 / 33,355 = 99.39%  
 予後調査対象：2013年～2022年までの10年間に登録され、直近1年間の  
 受診歴がない患者

図1 2024年度の予後調査（住民票照会）結果（対象：2013年～2022年症例）

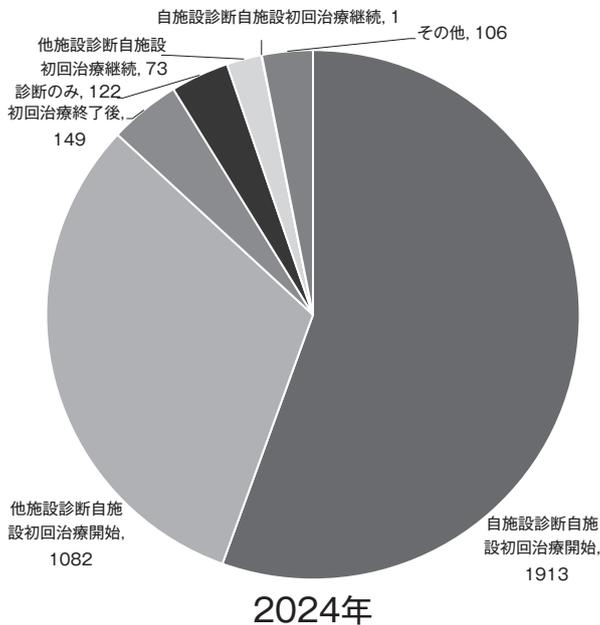


図2 院内がん登録 症例区分

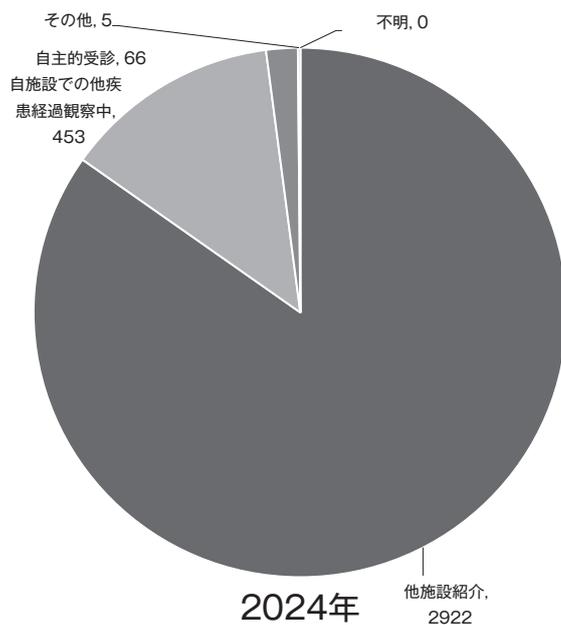


図3 院内がん登録 来院経路

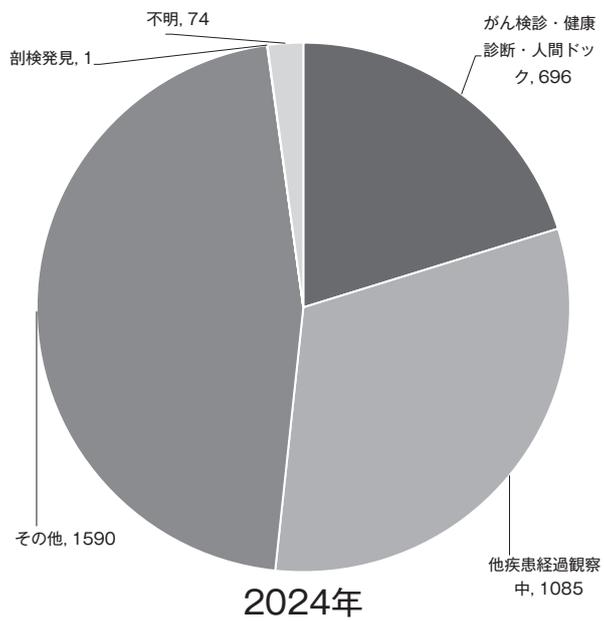


図4 院内がん登録 発見経緯